

住まいの省エネ・エコについて⑤

今回も前月に引き続き、空気中の二酸化炭素(以下、CO₂)を吸収する塗料に関する推移や効果を紹介します。

この塗料の特質としてはケイ酸系塗料であるということ、CO₂を吸収すると科学反応により、ガラス化傾向が恒常的に続きます。さらに硬度化することも向上・耐火・耐熱効果が実証され、不燃塗材としても取り扱われることになると思います。その塗料の塗布後の推移と効果を見ます。

①

塗料は素材の中まで浸透します。コンクリート系、石材系や木材系などほとんどの素材に適用され、亀裂面、毛細孔などにも奥深く浸透し、下塗りの段階でガラス質になります。

②

さらに上塗りを掛ける事によって、表面被覆に厚さを増していきます。また、塗布後大気中のCO₂と反応して重合ケイ酸物のガラス質となり化学反応が繰り返し続きます。

③

多様な用途に合った不燃性塗料であり、ガラス質のため、水に溶解せず、降雨・降雪・強風などで付着した汚れを浮かせ流すことができます。また、酸性物質も酸化剤として

は役に立たず、中性化・劣化を防御する事になり、美観が長期にわたり維持できるため、プラスの効果が生れます。

ではCO₂吸収の例えを、身近な排出量と杉の木のCO₂吸収量で表してみます。樹齢50年、樹高25m程の杉の木は、1年で1本当たり約14kgのCO₂を吸収しています。人間は大人1人のCO₂排出量が年間約320kgとされており、杉の木23本分、また、乗用車1台からは年間約2,300kg排出されるので、杉の木160本分、住宅一戸当りは年間6,500kgで460本分となります。さきほどの塗料をどれだけ塗ったら杉の木の年間吸収量に相当するののかというと約7㎡です。つまりベニヤ板4.2枚分ほどです。住宅1棟の屋根・外壁の面積は平均して350㎡前後ですので、塗布すると杉の木を約50本分に相当し、推定継続年数は約10年以上、さらには安全・無害、中性化、シックハウス対応、防水・耐候性向上が見られるなど、地域環境を守る上でもこのようなエコ塗料を考えてみて下さい。おすすめです。



■問い合わせ なよろっぴい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654③6711

2023年12月発行予定の なよろ冬カレンダーに 掲載する写真を 募集します！

ひとり
2点まで

テーマ

名寄の冬(冬の生活や活動・人・動物・景色など)

応募資格

どなたでもご応募できます。

応募規格

【写真】横長・10MB以下でJPEG形式

応募方法

①持参または郵送による応募の場合

応募用紙と応募作品をCDやUSBなどの記録媒体に記録したものを事務局まで持参または郵送してください。

※記録媒体を提出いただいた場合、返却できませんのでご了承ください。



申込期限
3月31日(木)

②パソコンまたはスマートフォンによる応募の場合

ホームページまたは次の応募フォームにアクセスし、必要事項を回答のうえ応募してください。

▼ホームページ・応募用紙はこちら

名寄市ホームページ
<http://www.city.nayoro.lg.jp>

まちづくり

利雪親雪

なよろ冬カレンダー

▼応募フォーム



※応募いただいた写真は、他の利雪親雪推進事業で使用する場合があります。

申し込み・問い合わせ

名寄市利雪親雪推進市民委員会事務局
総合政策部総合政策課内(名寄庁舎3階) ☎01654③2111(内線3312)